

【見どころ案内】



ヒガンバナ

不老川の土手沿いに見られます。9月中旬から下旬にかけて咲く鮮烈な赤色の花は曼珠沙華の名でも知られています。

ハケの雑木林

このハケは、大昔の古多摩川が武蔵野台地を侵食してつくった崖や斜面です。ハケ沿いの雑木林は、宅地化が進んだ平野部の中に貴重な緑を残しています。



入間市健康福祉センター

元気なまちづくりのため平成15年4月にオープンした、市民の保健・医療・福祉の各機能のほか健康増進機能をもった総合健康施設です。(お問合せ04-2966-5511)



熊野神社

鎌倉時代末、新田義貞が鎌倉幕府を攻めた時に戦勝を祈願したと伝えられています。境内には市指定文化財の大スギがあります。



藤沢の獅子舞

五穀豊穡、無病息災を願い、祖先の霊に感謝の意を捧げる舞として伝えられています。熊野神社の秋の例祭を中心として行われます。

⑦ 武蔵野を歩く

【距離】 約7km 所要時間 約2時間

武蔵野台地を流れる不老川に沿って、武蔵野の雑木林や茶畑を見ながら歩くコースです。不老川沿いの土手や雑木林では、四季折々の草花や生き物も観察できます。

●コース（※【50】は入間市景観50選です。）

[荻原バス停]→不老川とヒガンバナ【50】→大森調節池→藤宮道路周辺の雑木林【50】→健康福祉センター→不老川の土手→げんき橋(463バイパス歩道橋)→藤沢橋の歩道橋→不動院→藤沢支所・図書館・公民館→熊野神社【50】→[武蔵藤沢駅]

元気な入間 ふれあい茶ん歩道 7つのコース

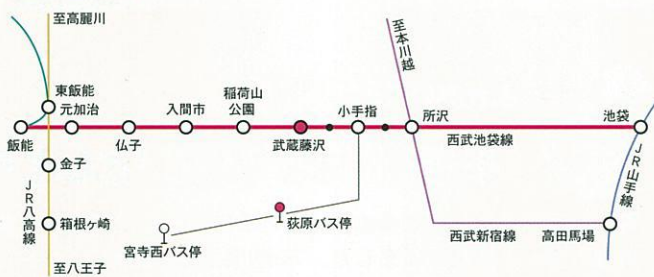
いろいろな入間市にふれあってください。

- ①「里山をめぐる」
- ②「入間川を歩く」
- ③「湧水をめぐる」
- ④「加治丘陵を楽しむ」
- ⑤「茶畑と丘陵を歩く」
- ⑥「狭山茶の歴史を訪ねる」
- ⑦「武蔵野を歩く」

お願い

- ゴミは捨てないで家に持ち帰りましょう。
- 火の元には十分に注意しましょう。
- コース外の畑や山林に勝手に入らないようにしましょう。
- 山野草を採らないでください。みんなの自然を守りましょう。

交通のご案内



発行 入間市役所農業振興課 (2017.11)

〒358-8511 埼玉県入間市豊岡1-16-1 TEL 04-2964-1111

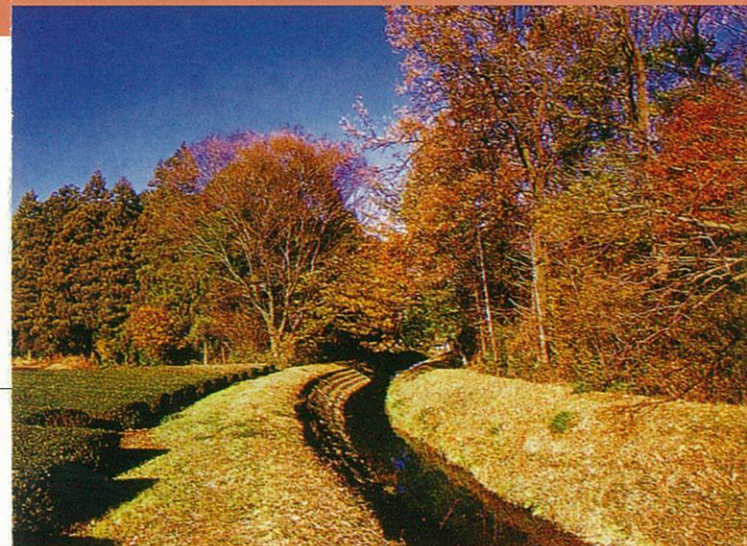
ホームページアドレス <http://www.city.iruma.saitama.jp/>

モバイルサイト <http://mobile.city.iruma.saitama.jp/>

無断転載・複製を禁ず

元気な入間 ふれあい茶ん歩道

⑦ 武蔵野を歩く



埼玉県入間市

「不老川」で見られる花



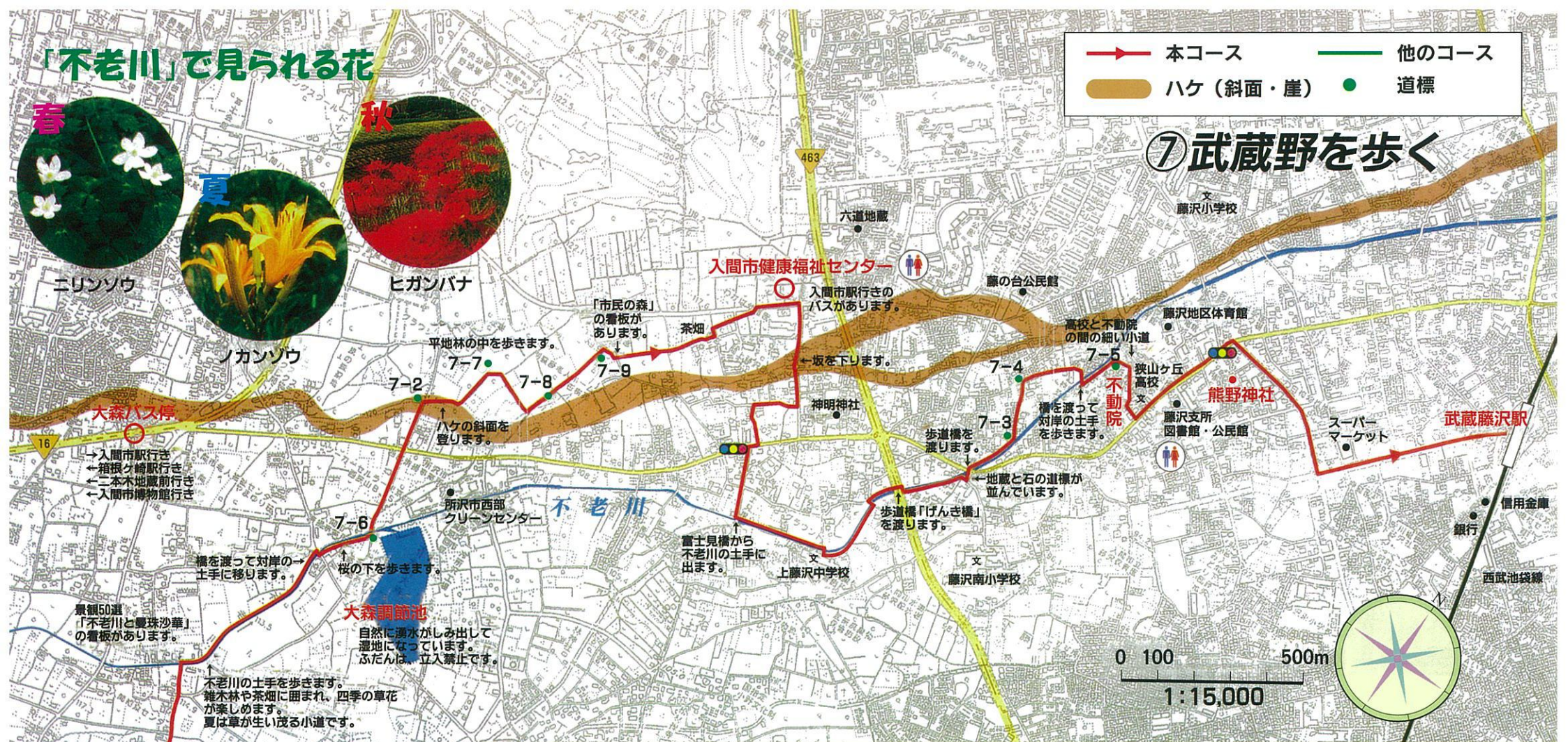
春 エリンソウ

夏 ノカンゾウ

秋 ヒガンバナ

→ 本コース — 他のコース
 ハケ（斜面・崖） ● 道標

⑦ 武蔵野を歩く



ふれあいマメ知識

としとらずがり

「不老川」はどうして「としとらず川」なの？

現在、東京都を流れる多摩川は、約2万年前には青梅から狭山丘陵の北側を流れ、川越方面へと流れていました。不老川に沿って続く「ハケ」は、当時の古多摩川が武蔵野台地をけずってつくった川岸の崖でした。古多摩川が残っていた川原の石ころや砂の層を流れる地下水が地表に現われたのが不老川でした。このため、雨が少ない節分の頃には地下水位が下がり、毎年涸れ川となるため「年を越せない川」が転じて「年を取らない川」「としとらず川」「不老川」となると言われています。現在では、生活排水が入ってくるため冬でも水が涸れなくなりました。

